

アメリカカンザイシロアリ

【特徴】

アメリカカンザイシロアリは、乾いた木材中の僅かな水分で生育できるシロアリです。元々日本には居なかった種なのですが、木材や家具の輸入によって運び込まれたようです。土の中に巣をつくるヤマトシロアリやイエシロアリと違って、加害した木の中に巣（孔道）をつくり、蟻道や蟻土を作りません。

【被害】加害は建物下部材だけでなく、小屋組材まで及びますので、建物全体に被害が及びます。巣（コロニー）の周辺は空洞になってしまいますので、被害箇所によっては、耐震強度が著しく低下する可能性があります。

ヤマトシロアリやイエシロアリと比較すると食害の進行が遅く、住宅にアメリカカンザイシロアリが侵入してから被害の兆候が現れるまでに数年かかると言われていています。早期発見が難しく、駆除法が確立されていない上に再発率も高いため、被害は広がりやすいと言えます。

【格好】羽アリ（有翅虫）の体長は6～8mm程度で頭部は赤褐色、他は黒褐色。動きは非常に敏速で、暖かい日に少数で飛び立ちます。体色が似ていることから、日中に群飛するヤマトシロアリと誤認されやすいので注意が必要です。

兵蟻は8-11mm程度、頭部は濃褐色で頭部前方は黒色です。職蟻は全体が乳白色で、ほぼ円筒状です。ヤマトシロアリやイエシロアリよりも大きく、ずんぐりしています。

職蟻



兵蟻



アメリカカンザイシロアリの糞



被害のある箇所の付近に砂のような顆粒状の糞を確認することができます。天井からパラパラと降ってきたり、部屋の隅に積もっているといった症状がみられます。

被害材



施工方法



大切なことは、早期発見、早期駆除ですが、少ない段階での発見は極めて困難です。特徴的な糞や羽蟻を見つけたら早めにシロアリ防除のプロへご連絡下さい。